







平成28年度現地検討会実施状況（森林計画等）

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
協定・施業団地	石狩市森林整備協定（共同施業団地）内の路網活用	7月6日	石狩森林管理署 石狩市 市森林組合	石狩市（国有林） 石狩市（民有林【酪農学園大学所有】）	国有林	2名	民国連携した効率的な森林整備を円滑に進めるため、共同施業団地内の国有林と民有林の路網の接続について検討	適切な路網配置をすることによって、民国が連携し将来にわたり活用出来る体制、整備が必要である参加者で共有した。	
					民有林	7名			
					事業体	3名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	12名			
路網選定の意見を話し合う									
環境保護	登山道補修技術研修会	7月11日 9月12日	環境省上川自然保護官事務所 上川中部森林管理署	上川町（国有林）	国有林	5名	大雪山国立公園において、国有林施策と環境省の一層の連携に資するため、研修会を実施	自然保護官事務所との連携の下、GSS(グリーン・サポート・スタッフ)を含めた研修を通じて、荒廃の原因等に対する共通理解と、対策・管理のあり方を学び、個々の技術向上に繋がった。 今後は、研修を活かして自然環境と調和が図られた登山道整備及び管理を実施する。	
					民有林	2名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	3名			
					合計	10名			
登山道の整備をする様子									
森林計画	GPS等を活用した森林管理実践セミナー	10月14日	石狩振興局森林室 石狩森林管理署	札幌市（白旗山森林活用センター）	国有林	2名	市町村が作成する林地台帳等の効率的な管理手法を学ぶため、GPS等を活用した森林管理技術を習得	「GPSを活用した森林管理の基礎知識」の講義、「国有林におけるGPSを活用した活動事例」の講義を行い、意見交換を午前中実施した。「スマホ等を活用した森林管理の手法」の講義を実施した後、野外にて一人一台GPSを使用して、使用方法や森林位置情報の取得を目的として行った。	
					民有林	11名			
					事業体	6名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	19名			
講師よりGPS操作を説明中									
森林施業	道南ヒバ勉強会	10月28日	檜山森林管理署 檜山振興局森林室	江差町（町有林） ヒバモデル林（国有林）	国有林	2名	道南の郷土樹種であるヒバ（檜葉）による山づくりの取組等について現地で意見交換会の実施	檜山地域におけるヒバ資源状況やヒバ造林実績等報告の後、ヒバ苗木生産方法の一つである「ヒバ空中取り木法」の実演の後「ヒバモデル林」にてヒバの特性や国有林でのヒバの育成方法等を情報発信を行った。 檜山地域におけるヒバの蓄積の97%を国有林が占めているため、当署への期待度が高い。 今後もヒバの山づくりが地域の活性化に繋がることから「ヒバモデル林」を活用して勉強会等開催することとした。	
					民有林	30名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	名			
					合計	32名			
ヒバ勉強会									

分野	検討会名	開催月日	主催・共催	開催地	出席者	目的	内容	写真	
希少種	シマフクロウ生息地保護林 施業現地検討会	11月18日	希少種生息地情報のため、実施署、 開催地等は非公開	希少種生息地情報のため、実施 署、開催地等は非公開	国有林	29 名	希少野生動植物の保護を推進するた め、職員間の情報共有と更なる知識 の向上及び民有林関係者に対して生 物多様性保全や希少野生生物保護に 係る施業について現地検討を実施	職員間の情報共有と更なる知識の向上及び環境省、地 元自治体も参加した検討会を開催した。 専門家からは、自然環境を復元することで新たな生息 地誕生の可能性があること、事故による殺傷の防止と餌 の確保、関係機関単独ではなくトータルで守っていくこ とが重要との説明された。 署からはシマフクロウの生息に配慮した人工林間伐の 考え方について説明した。 北海道や地元自治体参加者から「生物多様性保全に向 けた取り組みを現地で見聞きすることがなかったので良 い機会になった」「生息環境を実際に見てみると町有林 内にも生息適地があるように感じた」等の感想をいただ いた。	 <p>民国の関係者に専門家が説明している様 子</p>
					民有林	4 名			
					事業体	名			
					研究機関	名			
					その他	1 名			
					合計	34 名			
天然更新	平成28年度森林計画樹立 に伴う現地意見交換会	12月1日	北海道森林管理局計画課	標茶町（国有林）	国有林	32 名	トドマツ人工林の多くが主伐可能な 林齢を迎え、造林コストの低減が大 きな課題となっている中、耐陰性が 高いトドマツ稚幼樹の特性に着目 し、天然更新を活用してトドマツ人 工林を効率的に更新・密度管理する 施業タイプの開発	トドマツ稚幼樹が高密度に分布している現場を対象地 とし、作業システム（稚幼樹への影響、作業コスト）、 伐採手法【伐採率、伐採方法】（立木への影響、稚幼樹 への影響、成長への影響、作業コスト）、伐採時期【秋 季、冬季】（立木への影響、稚樹への影響、成長への影 響、作業コスト）などについて、上木伐採後の現地を確 認しながら意見交換を行った。	 <p>現地説明及び意見交換</p>
					民有林	3 名			
					事業体	名			
					研究機関	4 名			
					その他	2 名			
					合計	41 名			